

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年 3月 28日

事業所名:晴る日 児童発達支援 田山事業所

保護者等数(児童数)

回収数 18

割合 94%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	2		3	・走り回るスペースがあるとは言えないが運動ができるように工夫されていると思う。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		5	・子供1人に1人先生がついてくれたりと適切だと思う。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1		3	・1人1人にスケジュールが分かるようになっており、場所も分かりやすくなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	1		3	・心地よく過ごせるようになっていると思う。	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	18					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	2		3		・事業所内で見えやすい場所に掲示することや、ガイドラインに沿って支援計画を作成させて頂いていることなど、支援計画の面談の際にお話させていただく。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	1		1	・計画して頂いた支援を行ってくれていると思う。	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	14	1	1	2	・週ごとにやる事が違い、季節の変化に合わせて様々な活動をしてくれ、子供は晴る日へ行くのをいつも楽しみにしている。 ・外遊び・課外活動があっても良いのではないかな？	・運動週間で外遊び(公園に出掛ける)をしている様子や、挑戦出来たことなど機会を作ってお知らせ出来るようにする。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が	8	1	1	8		
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	15	1		2	・子供の成長している部分やこれからの課題についてなど、いつも親身になって説明してくれ	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	9	2	3	4	・親の方も我が子の特性を理解したり、声掛けや家でやるべき事など教わりたい。	・令和6年4月からペアレントトレーニングの機会を設け、取り組む予定にしている。



保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	2			・送りや連絡帳で良かった点や出来るようになったことはよく分かるが、課題についてはあまり言われなため面談の時だけでなく教えてもらいたい。	・面談の機会を増やしたり、ラインも使ったりしながら細かくお伝えするようにしたい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3		8	7	・保護者同士の連携などはないが、特に不満はない。	・学年ごとなどの小さな単位で保護者会を計画している。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	2				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1			・連絡ノートにいつもしっかり記入してくれるため、どのように過ごしているのか知ることが出来て嬉しい。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17	1				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17	1				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	1	1	9	・訓練されているかと、マニュアルがあるのか分からない。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2		11	・訓練されているかと、マニュアルがあるのか分からない。	・訓練マニュアルの掲示場所を分かりやすくしたり、訓練の実施内容を報告するようにし
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1			・楽しく通えているので、また行くと言っている。 ・毎回楽しそうに行くので安心して	
	23	事業所の支援に満足しているか	18				・言語の事も考えていてくれて、子供も機嫌よく帰ってきているので満足している。 ・発達障害児の子育ての悩みや成長の喜びを分かち合ってくれる存在で、子供だけでなく親の心の支えにもなっている。	・今後も益々保護者様の御心に寄り添っていただけるように相談支援の場を増やしていきたい。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。